

第 11 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 24 年 12 月 5 日 (水)
2. 開催場所 あいのの温泉 鶴ヶ池荘 2 階コンベンションルーム
3. 委員出席 委員総数 6 名
出席委員数 5 名

出席委員	斎藤 和夫	委員長
	岡部 えり子	副委員長
	佐々木 隆一	委員
	鈴木 信好	委員
	土田 百合子	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 11 名

奥山 和彦	代表取締役社長
渡部 尚男	代表取締役副社長
打川 敦	取締役専務
斎藤 善一	取締役
高橋 雅博	総務局長
小笠原 豊	制作営業局長
檜尾 正	編成部長
柴田 優子	制作部長
高橋 潔	総務部長
木匠 一公	総務部
原田 美桜	番組審議会事務局

4. 議題

- (1) 12月課題審議 審議番組『横手トピックス』
(11月11日日曜日 午前9時00分～午前9時30分 放送分)
- (2) その他

5. 審議事項

(1) 12月課題審議

① 審議番組『横手トピックス』について

- ・つまったりするのは、ローカルFMの良さであり、真髓である。
- ・ゆっくり落ち着いていて、内容を伝えることができていたのではないか。
- ・1年前に比べて、話し方も慣れてきたのか、大変聴きやすく、いい放送。
- ・朝のこの時間、ほっとするような音楽があると、耳がひきつけられていい。
- ・聴きやすく、文句のつけようがない。
- ・特に言うことがない。
- ・横文字など、聞いていて意味が分からないなあというところがある。緊急告知ラジオの配布対象が、高齢者のみの世帯や、障がい者がいる世帯。聴いている人の年齢層を考えていくのが大事ではないかと思う。
- ・若い人の声で聴きやすいという評価と合わせて、年齢とあったような番組も作ってほしい。戦後の音楽も聴きたい。
- ・行政ニュースも横文字が多く、情報提供側も考えて放送をお願いしなければならないと思う。

<会社側からの回答>

- ・朝の番組については、朝のほっとするひとときをこれからも皆様にお届けしたい。
- ・ローカルの良さ。言い間違いなどご迷惑をおかけしているが、リスナーに情報をしっかりと伝えるのが第1の目標なので、これからもしっかり教育していく。
- ・聴きなれない言葉をどう伝わるように伝えるか、これからも検討していきたい。
- ・戦後の音楽を紹介する「ラジオ歌謡」、演歌を紹介する「ひでみの歌謡演歌」など、今後も様々な年代にあったラジオ番組を放送していきたい。
- ・スタッフ一同、どんな時でも対応・発信できるようにしておきたい。
- ・アナウンスについてお褒めのことばをいただきありがたい。今年度の目標は「品質の向上」。聴きやすい放送ができたのならまずはよかったと思う。

6. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 平成 24 年 月 日

7. 次回審議番組

「**グッドモーニングヨコテ**」（毎週月～木曜日 午前 7 時 00 分～午前 9 時 00 分放送）